

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52304	保育内容(健康) Health-Related Study of Nursing	伊藤照美		共通	1	必修	1後期

科目の概要

子どもたちが、生涯にわたって健康で、安全で幸福な生活を、送るために私たちは何をすべきか、子どもの健康について理解する。子どもたちの心と体の健康な発達や、運動発達を、理解し、子どもに必要な体験とは何かをしっかりと学習する。健全な発育を促す具体的な指導方法について、学習する。①子どもの「健康」をめぐる現状と課題 ②子どもの健康と遊び ③子どもの身体の発育発達と運動能力について④運動能力と動きの獲得 ⑤安全の指導等、領域「健康」のねらいと内容についても学習する。健康な生活とは、幼児の生活リズムの乱れ、子どものあそびの変化や体力低下の問題点や、原因について個人個人が考え、グループで発表し、全員で議論する。子どもが健康であるために必要な知識を理解し、実習等で発揮でき、困難な場面でも対応できるよう習得する。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 子どもの健康をめぐる現状について知り、課題点を学習する。 ② 子供の日常生活について知り、リズムの変化、生活のリズムを学習する。 ③ 運動能力と動きの獲得について学び、実践に結び付ける ④ 領域「健康」について理解し、ねらいと内容について学習する。 ⑤ 子どもの健康な心と、体を育てるために必要な保育者の役割について理解し、保育で心がけなければならない安全指導について学ぶ	① 子どもの、健康をめぐる現状と課題を理解できる。 ② 子どもの生活リズムの変化（睡眠時間の問題、食生活の問題、日昼の活動の問題）等、生活のリズムを理解できる ③ 子どもの身体の発達と運動能力について理解できる。 ④ 領域「健康」について、ねらいと内容について理解できる。 ⑤ 子どもの健康な心と、体を育てるために必要な保育者の役割について理解できる。 保育で心がけなければならない安全指導について理解できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	子ども達の健康について、自が学習する事が何かを見極め、自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	次回の授業内容について事前に予習・復習をし、学習計画を立てることができる。
考え抜く力	課題発見力	授業で出された課題や問題を分析し、目的を達成できる。
	計画力	
	創造力	授業で学習したことや、自分の知識を活用して、アイデアを出すことができる。
チームで働く力	発信力	内容の確認や質問などを行いながら、相手の意見を正確に理解できる。
	傾聴力	グループ活動において、周りの意見に耳を傾け、相手の意見を理解できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席など、学生意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：事例で学ぶ保育内容 領域 健康 武藤隆 監修 倉持清美 編者代表萌文書林¥2477+税
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「領域」「環境」「言葉」「人間関係」「保育者論」「現代保育研究」
資格との関連：保育士 幼稚園教諭

学修上の助言	受講生とのルール
・自分を取り巻くものはすべて環境と理解し、保育者になろうとする自覚を持ち、生活経験を広めるよう努力すること。 ・身の回りにある伝統行事、家庭文化、生活習慣などに関心を持ち理解する。	・出席度を重視するので積極的な授業参加が望まれる。 ・授業中の私語は慎み他人に迷惑をかけないこと。 ・授業態度の悪い学生は退席してもらおう。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	50	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①		
				②		
				③	✓	
				④		
				⑤		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの、健康をめぐる現状と課題を理解できる。 ・子どもの生活リズムの変化（睡眠時間、食生活、日昼の活動の問題）等、生活のリズムの問題点が理解できる。 ・子どもの身体の発達と運動能力について理解できる。 ・領域「健康」について、ねらいと内容について理解できる。 ・保育で心がけなければならない安全指導について理解する ・子どもの健康な心と、体を育てるために必要な保育者の役割について理解できる。 ・こどもの生活や遊びに対し保育者としてどう環境を整えるのか、またどう援助するのか理解でき、さらに展開の仕方を知ることができる。 ・グループ発表において協力し、意見を出し合い全員で議論し、レポートをまとめ聞く側に分かりやすく工夫された発表ができる。 ・総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの、健康をめぐる現状と課題を理解できる。 ・子どもの生活リズムの変化（睡眠時間の、食生活、日昼の活動の問題）等、生活のリズムの問題点や原因が理解できる。 ・子どもの身体の発達と運動能力について理解できる。 ・領域「健康」について、ねらいと内容について理解できる。 ・保育で心がけなければならない安全指導について理解する。 ・総合評価79～70はB（良）、69～60はC（可）とする

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の目的と内容についての確認をする	演習	幼児教育の基本について理解できる	(予習) 幼稚園教育要領、保育所指針の健康のねらいを、読み「子どもの発達」など子どもについて理解しておく	45	主体性 傾聴力 規律性
2	子どもの育ちと領域「健康」 乳幼児期を通しての運動能力の発達や生活習慣の形成過程を学ぶ	演習 理解確認・フィードバック	乳幼児期を通しての運動能力の発達や生活習慣の形成過程を理解できる	(復習) 前回の乳幼児期を通しての運動能力の発達や生活習慣の形成過程について確認しておく (予習) 「健康」とは何か。WHOの健康の定義の理解をする。事前にテキストを、読んでくる	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	子どもの「健康」をめぐる現状と課題 最近の子どもたちの姿や遊びの内容、運動能力の傾向や運動能力を低下させた原因などを習得する	演習 理解確認にてフィードバック	子どもたちの姿や遊びの内容、運動能力の傾向や運動能力を低下させた原因などを理解できる	(復習) 前回の内容子どもの遊び内容と運動能力について調べておく (予習) 現在の子どもたちの運動能力について調べておく	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	子どもの「健康」をめぐる現状と課題 園での保育が運動能力の発達に与える影響や家庭環境が運動能力の発達にあたる影響などを学ぶ DVD鑑賞 こどもの発達と支援「運動機能の発達」	演習 理解確認にてフィードバック	授業で取り上げた内容について自分の意見をわかりやすくまとめている	(復習) 前回の内容子どもの遊びと運動能力についてを復習する (予習) 次回の授業での情報を収集する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	子どもの健康と遊び ルールのある遊びを事例から読み取り理解し、遊びを促す保育者の援助方法や発達に応じた遊びの提案をする また色々な状況での十分な活動量を確認すること、遊ぶ場所と物の工夫をする	演習 グループ討議 プレゼンテーション 発表 理解確認・フィードバック	子どもの健康と遊びを考えグループで討議し、グループでレポートをまとめ発表できる	(復習) 子どもの発達に与える影響について再度確認しておく (予習) グループ討議のチェックをする	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	子どもの健康と遊び 遊具を使った遊びと保育者の援助方法や大型遊具の特性や固定遊具を使った遊びの展開などさまざまな遊びについて考え学ぶ子どもへの指導法を考える	演習 指導案提出 レポート課題提出 理解確認にてフィードバック	授業で取り上げた内容について自分の意見をわかりやすくまとめている	(復習) 前回の内容、子どもの健康と遊びについて学習したところを復習する (予習) 子どもの遊びについて調べておく	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
7	子どもの健康と環境構成 遊具等の配置を考え、戸外での遊びの興味を引き出すための工夫や総合遊具を(アスレチック)を整備するなど保育の工夫を図るなど実践できる遊びを考える	演習 レポート課題提出 理解確認にてフィードバック	授業で取り上げた内容について自分の意見をわかりやすくまとめている	(復習) 前回の内容、子どもの健康と遊びについて学習したところをを復習する (予習) 園や公園などにある遊具を調べておく	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	子どもの生活習慣の形成 乳幼児期の生活習慣の形成と遊びの中で育む生活習慣を学ぶ	演習 理解確認にてフィードバック	乳幼児期の生活習慣の形成と遊びの中で育む生活習慣を理解できる	(復習) 前回の内容、遊びを考えた実践について修正しておく (予習) 子どもの生活の中での遊びを調べておく	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	子どもの生活習慣の形成 園環境と生活習慣の形成、生活習慣を育む保育者の役割など生活習慣と家庭との連携がどうあるべきか考える	演習 レポート課題提出 理解確認にてフィードバック	授業で取り上げた内容について自分の意見をわかりやすくまとめている	(復習) 前回の内容、子どもの生活習慣について復習する (予習) 子どもの健康を取り巻く保育者の役割を調べておく	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
10	子どもの健康と安全教育 乳幼児期を通しての運動能力の発達や遊びの中で育む安全の意識や配慮について学ぶ	演習 グループ討議 プレゼンテーション 理解確認にてフィードバック	乳幼児期を通しての運動能力の発達や遊びの中で育む安全の意識や配慮について理解できる	(復習) 前回の内容、子どもの生活習慣についてテキストを読み直し復習する (予習) 子どもが遊ぶための安全対策を調べておく	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
11	子どもの健康と安全教育 計画的な保育によって育む安全の意識や事故がおきたときの緊急対応について学ぶ 保育現場において、こどもの健康と発育発達・環境・安全を含む実践を考え、指導案を作成する	演習 指導案提出 レポート課題提出 理解確認にてフィードバック	授業で取り上げた内容について自分の意見をわかりやすくまとめている	(復習) 子どもが健やかに遊べるための安全対策を再度確認する (予習) 子どもの健康と安全についてテキストを読み、調べておく	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12	幼児教育の現代的課題と領域「健康」 「健康」の現代社会における今日的課題 ①生活のリズムを確立する ②食育の必要性 ③家庭との連携など「健康」と保育者の役割を学ぶ	演習 理解確認にてフィードバック	幼児教育の現代的課題と領域「健康」の現代社会における今日的課題について生活のリズムを確立する、食育の必要性、家庭との連携など「健康」と保育者の役割を理解できる	(復習) 前回の授業で学んだ安全教育を再度確認しておく (予習) 幼児教育の現代的課題と領域「健康」についてテキストを読んでおく	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
13	幼児教育の現代的課題と領域「健康」 「健康」について幼稚園・保育園・小学校の連携を考え連携がどうあるべきか考える	演習 レポート課題提出 理解確認にてフィードバック	授業で取り上げた内容について自分の意見をわかりやすくまとめている	(復習) 前回の内容、幼児教育の現代的課題と領域「健康」を復習する (予習) 幼稚園・保育園・小学校の連携をテキストを読み調べておく	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
14	まとめ① 「健康」についてどのような知見を深めることができたか 子どもの発達や育ちは理解できたかを確認する	演習 理解確認にてフィードバック	「健康」についてどのような知見を深めることができたか、子どもの発達や育ちについて理解できる	(復習) 前回の内容「健康」について、幼稚園・保育園・小学校の連携で学習したところを復習する (予習) 前回の授業を振り返り「健康」についてテキストを読んでおく	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
15	まとめ② 子どもの生活リズムの乱れの原因はなにか 運動能力低下の背景は何かなど再度確認する	演習 レポート課題提出(予定) 理解確認にてフィードバック	これまで学習してきた内容について理解し、自分の意見を分かりやすくまとめている	(予習) 今まで学んだ「子どもの健康と運動について」振り返っておく	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力